



発行所 日刊建設工業新聞社
〒108-0071 東京都港区豊洲2-2-10
電話03(3433)7151 http://www.deen.co.jp/
◎日刊建設工業新聞社 2018
記事 電話03-3433-7151 mail-ed@deen.co.jp
編集 電話03-3433-7152 mail-se@deen.co.jp
広告 電話03-3433-7154 ai-adv@deen.co.jp

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊建設工業新聞

2018年(平成30年) 4月5日(木曜日)

第19400号

明治維新150年と治水の歴史

竹林 征三

〈5〉大河津分水で県令が下した判断

た人として有名である。説しがいようがない。

明文には大河津分水について「信濃川の治水運動に一身を投じた中心的人物の高橋」とわずか10文字が記されているのみだが、分水騒動をどのように処理したかが重要であり、「廃業の決断」

引セラレ、終二八年三月工事廃棄ト相成タリ」とある。

までにはほぼ出来上がっていた。第一期大河津分水工事を廃業と決断し、分水路の呑み口を埋め戻して塞ぐことと指示したのである。

3か月後の1874(明治7)年2月には通水の予定であった。放水路の呑み口を埋め戻すよう命じたこととは、当然に呑み口が大河川で実績のある石組み構造で丈夫なモノにできていたことを見て知っていたはずである。

た人として有名である。説しがいようがない。明文には大河津分水について「信濃川の治水運動に一身を投じた中心的人物の高橋」とわずか10文字が記されているのみだが、分水騒動をどのように処理したかが重要であり、「廃業の決断」

73(明治6)年11月までにはほぼ完成していた。その後の1896年に横田切れがまた起こり、越後平野は大浸水被害を受けた。この被害は死者78人、人命救助された者998人、家屋全壊約1万戸、家屋浸水約6万戸。浸水面積は山手線内の約9倍、琵琶湖の86%の広さであった。

た人として有名である。説しがいようがない。明文には大河津分水について「信濃川の治水運動に一身を投じた中心的人物の高橋」とわずか10文字が記されているのみだが、分水騒動をどのように処理したかが重要であり、「廃業の決断」

政府からの派遣で現地を視察したお雇い外国人技師リンドウとブライトンが、大河津分水をすれば新潟港の土砂堆積が進んで河口水深に有害だとし、分水工事を中止するよう勧告。これを受け、楠本県令は中止するかどうかを巡り紛糾した県議会で中止をさつさと決めて政府に上申した。かくして、政府は1875年3月に分水工事の廃業を決定した。県令はその後東京府知事さらに衆議院議長に大栄転となる。それから20年

た人として有名である。説しがいようがない。明文には大河津分水について「信濃川の治水運動に一身を投じた中心的人物の高橋」とわずか10文字が記されているのみだが、分水騒動をどのように処理したかが重要であり、「廃業の決断」

〈参考文獻〉『物語日本の治水史』鹿島出版会(富士産業大学名誉教授、風土工学デザイン研究所理事長)

新潟市一番堀通町の白山公園内に、新潟県令・楠本正隆の偉業をたたえる銅像が1989(平成元)年に建立されている。大概の政治家や世のリーダーなどの頌功(しょうこう)像は正面をしっかりと見つめる威風堂々としたものばかりである。この像は右手を顎に付けてつむぎ加減で何か自信なさそうに悩んでいるような姿である。非常に珍しい銅像であり、製作者にはきつと何かの意図があったと思われる。

像の説明文には「明治5年から3年余県令として積極的に諸施策を推進、特に公園に熱情を示し、新潟と柏崎県の合併し県都を新潟町に定め、わが国最初の県議会を招集し、新潟の道路・水路・堤防・橋水の廃業で、これを決断し

備を行ない新潟町の近代化に大いに貢献した。…」などと功績がとつとつと記されている。

楠本県令の後世に伝わる一大事績は第一次大河津分水の廃業で、これを決断し

日記序には「示後國中ノ人夫数万ヲ募集シ日夜励精六年十一月予定ノ工事略落成ス。依テ明年二月信濃川ノ過水ヲ流通セシメ、宿望ヲ達セント水害村々ノ人民一日千秋ノ思ヲ為シ屈指相深に有害だとし、分水工事を中止するよう勧告。これを受け、楠本県令は中止するかどうかを巡り紛糾した県議会で中止をさつさと決めて政府に上申した。かくして、政府は1875年3月に分水工事の廃業を決定した。県令はその後東京府知事さらに衆議院議長に大栄転となる。それから20年

を新潟町に定め、わが国最初の県議会を招集し、新潟の道路・水路・堤防・橋水の廃業で、これを決断し

備を行ない新潟町の近代化に大いに貢献した。…」などと功績がとつとつと記されている。

楠本県令の後世に伝わる一大事績は第一次大河津分水の廃業で、これを決断し

日記序には「示後國中ノ人夫数万ヲ募集シ日夜励精六年十一月予定ノ工事略落成ス。依テ明年二月信濃川ノ過水ヲ流通セシメ、宿望ヲ達セント水害村々ノ人民一日千秋ノ思ヲ為シ屈指相深に有害だとし、分水工事を中止するよう勧告。これを受け、楠本県令は中止するかどうかを巡り紛糾した県議会で中止をさつさと決めて政府に上申した。かくして、政府は1875年3月に分水工事の廃業を決定した。県令はその後東京府知事さらに衆議院議長に大栄転となる。それから20年

を新潟町に定め、わが国最初の県議会を招集し、新潟の道路・水路・堤防・橋水の廃業で、これを決断し

備を行ない新潟町の近代化に大いに貢献した。…」などと功績がとつとつと記されている。

楠本県令の後世に伝わる一大事績は第一次大河津分水の廃業で、これを決断し

日記序には「示後國中ノ人夫数万ヲ募集シ日夜励精六年十一月予定ノ工事略落成ス。依テ明年二月信濃川ノ過水ヲ流通セシメ、宿望ヲ達セント水害村々ノ人民一日千秋ノ思ヲ為シ屈指相深に有害だとし、分水工事を中止するよう勧告。これを受け、楠本県令は中止するかどうかを巡り紛糾した県議会で中止をさつさと決めて政府に上申した。かくして、政府は1875年3月に分水工事の廃業を決定した。県令はその後東京府知事さらに衆議院議長に大栄転となる。それから20年

を新潟町に定め、わが国最初の県議会を招集し、新潟の道路・水路・堤防・橋水の廃業で、これを決断し

備を行ない新潟町の近代化に大いに貢献した。…」などと功績がとつとつと記されている。

楠本県令の後世に伝わる一大事績は第一次大河津分水の廃業で、これを決断し

日記序には「示後國中ノ人夫数万ヲ募集シ日夜励精六年十一月予定ノ工事略落成ス。依テ明年二月信濃川ノ過水ヲ流通セシメ、宿望ヲ達セント水害村々ノ人民一日千秋ノ思ヲ為シ屈指相深に有害だとし、分水工事を中止するよう勧告。これを受け、楠本県令は中止するかどうかを巡り紛糾した県議会で中止をさつさと決めて政府に上申した。かくして、政府は1875年3月に分水工事の廃業を決定した。県令はその後東京府知事さらに衆議院議長に大栄転となる。それから20年

週一回掲載